



首都圏ハイブリッドワーカー調査結果 vol.2

Web会議での「カメラオン派」が多いのはどんな職種？
職種別に異なるWeb会議の困り事や工夫点も明らかに

2023年6月

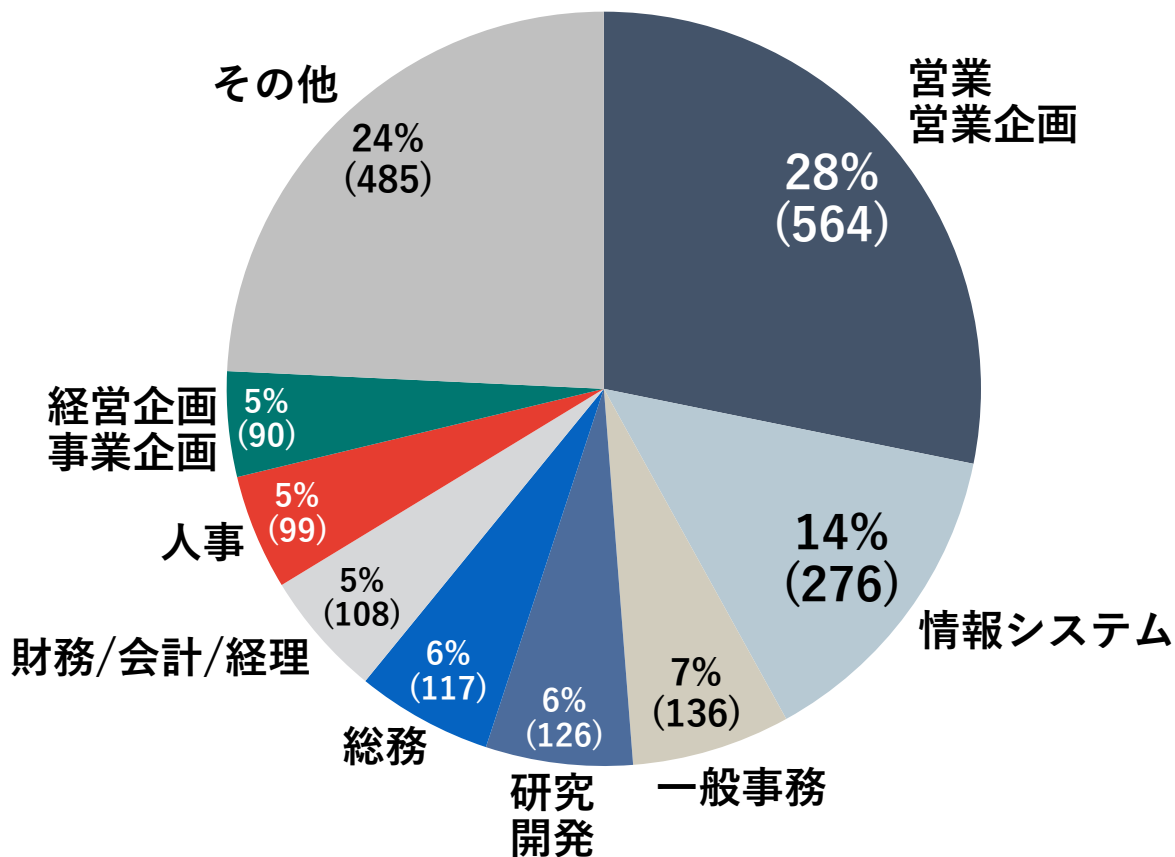
首都圏ハイブリッドワーカー調査の概要

コロナ後の定着が進む「ハイブリッドワーク」におけるWeb会議の実態と課題を把握するため、首都圏の企業（従業員100名以上）に勤めるハイブリッドワーカーに対して調査を実施し、職種別に分析を行いました。

■ 調査概要

調査対象	東京23区の企業（従業員100名以上）に勤務し、週1回以上ハイブリッドワークを実施するオフィスワーカー（Web会議を実施している人）
回答者数	2,000人
調査手法	インターネット調査
調査時期	2022年10月

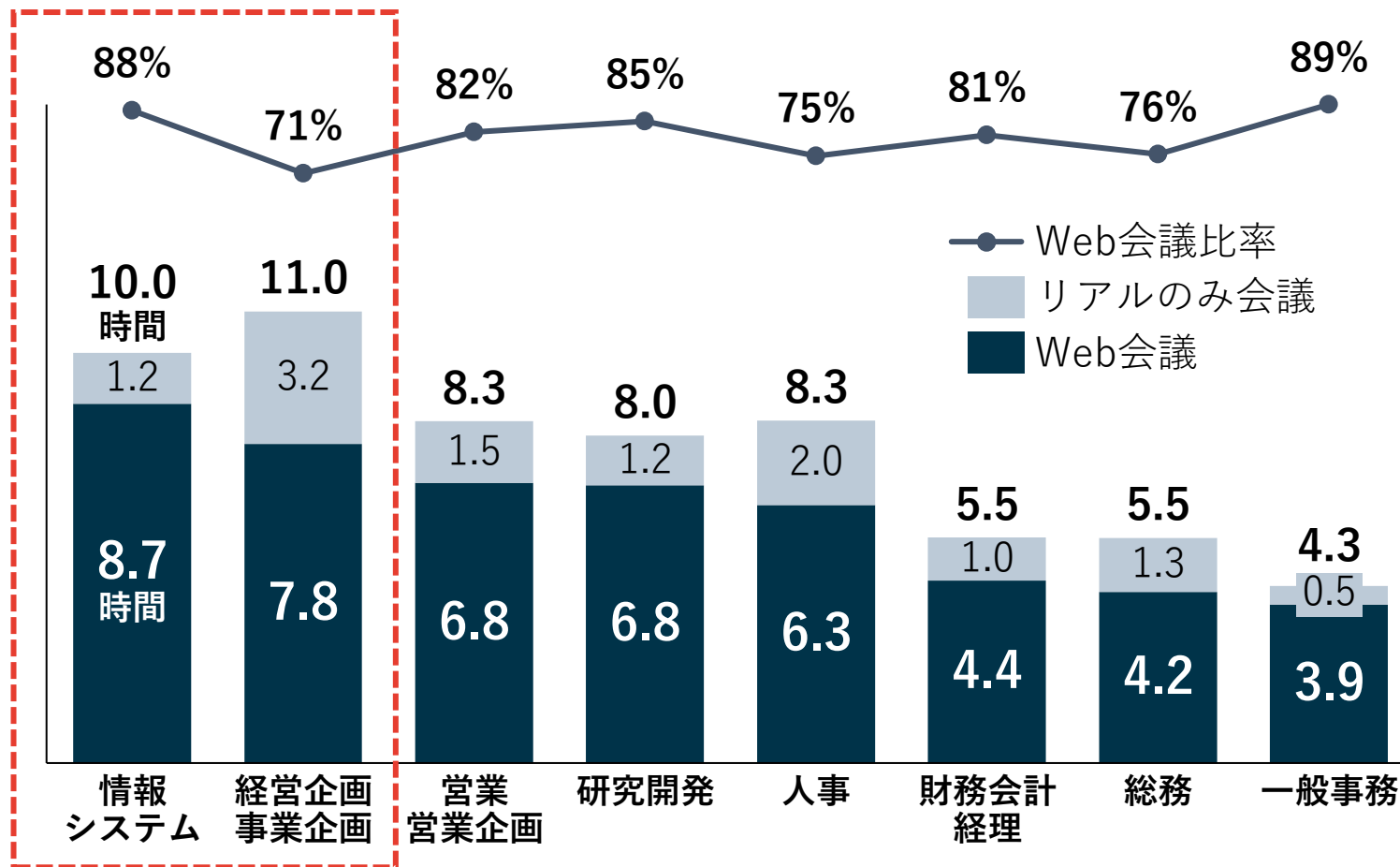
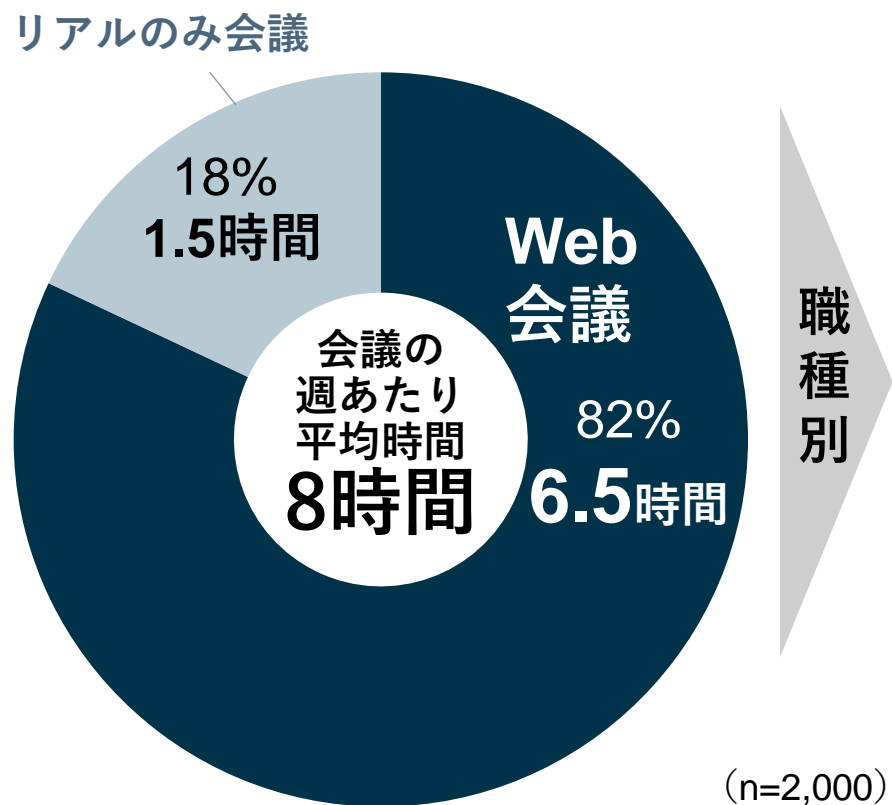
■ 回答者の職種構成比（サンプル数）



首都圏ハイブリッドワーカーの会議時間とWeb会議比率（職種別）

Q. 週あたり何時間
Web会議をしている？

全体では週平均6.5時間（会議の82%がWebで実施）
Web会議が多い職種は「情報システム」「経営企画・事業企画」

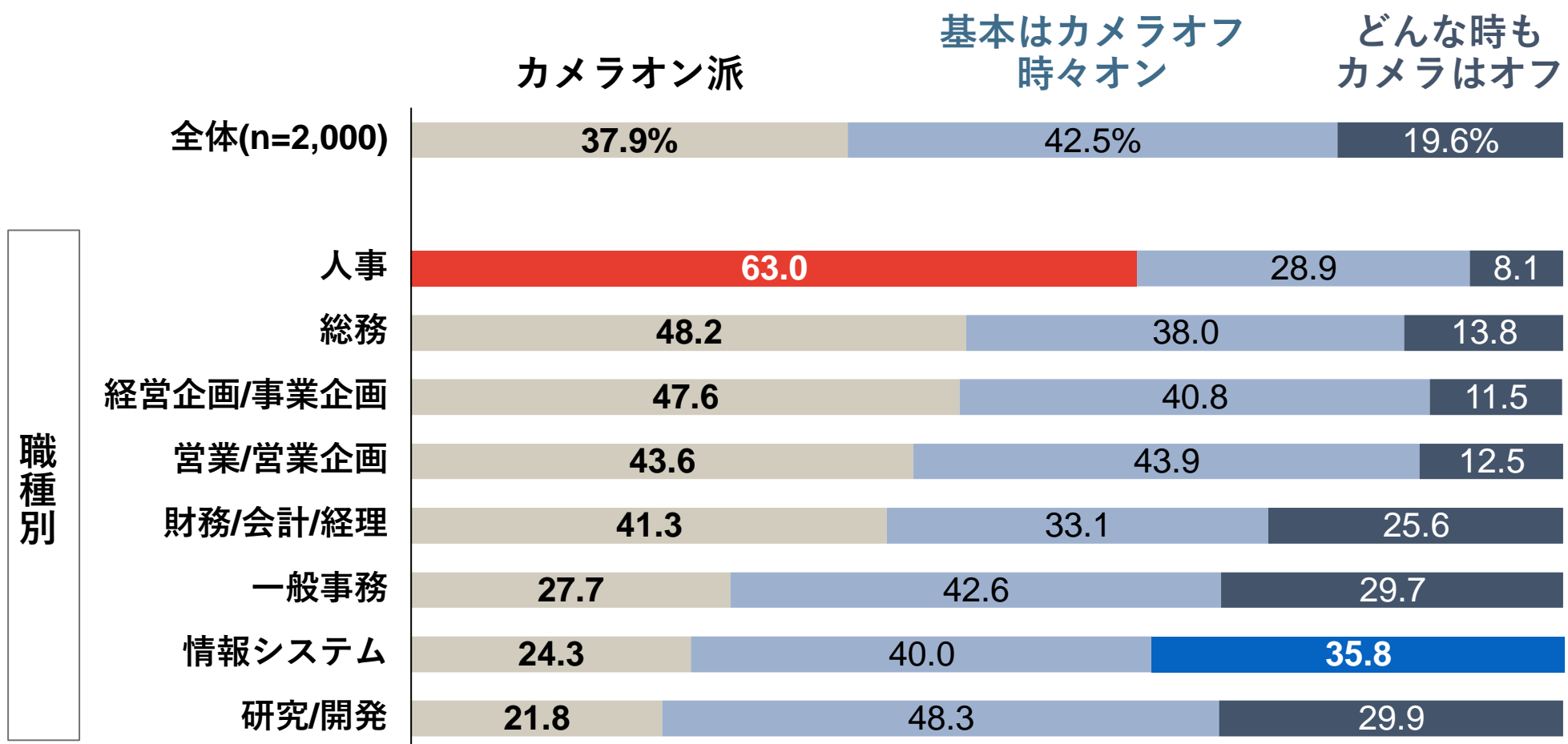


※回答者の参加場所は問わず、1人でもWeb参加がいる場合はWeb会議とみなす

Web会議におけるカメラ設定（職種別）

Q. Web会議でカメラはオン？

カメラの基本設定は、全体では6割超が「基本オフ」
オン派が多いのは「人事」、どんな時もオフが多いのは「情報システム」

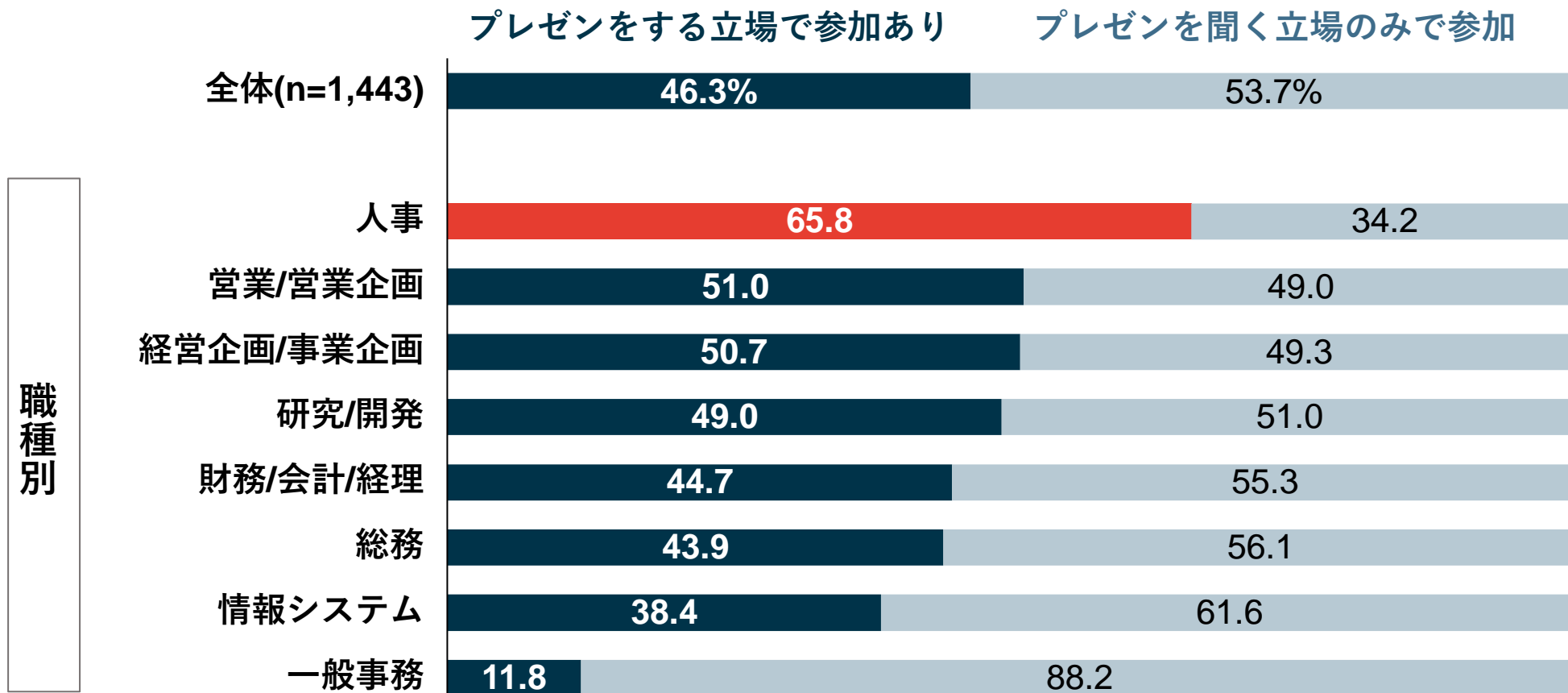


Webプレゼン実施率（職種別）

Q. Webプレゼンする機会はある？

全体では46.3%がプレゼンを実施
「人事」は突出してプレゼンの機会が多い（65.8%）

対象：直近1ヶ月にプレゼンのある会議に出席した人



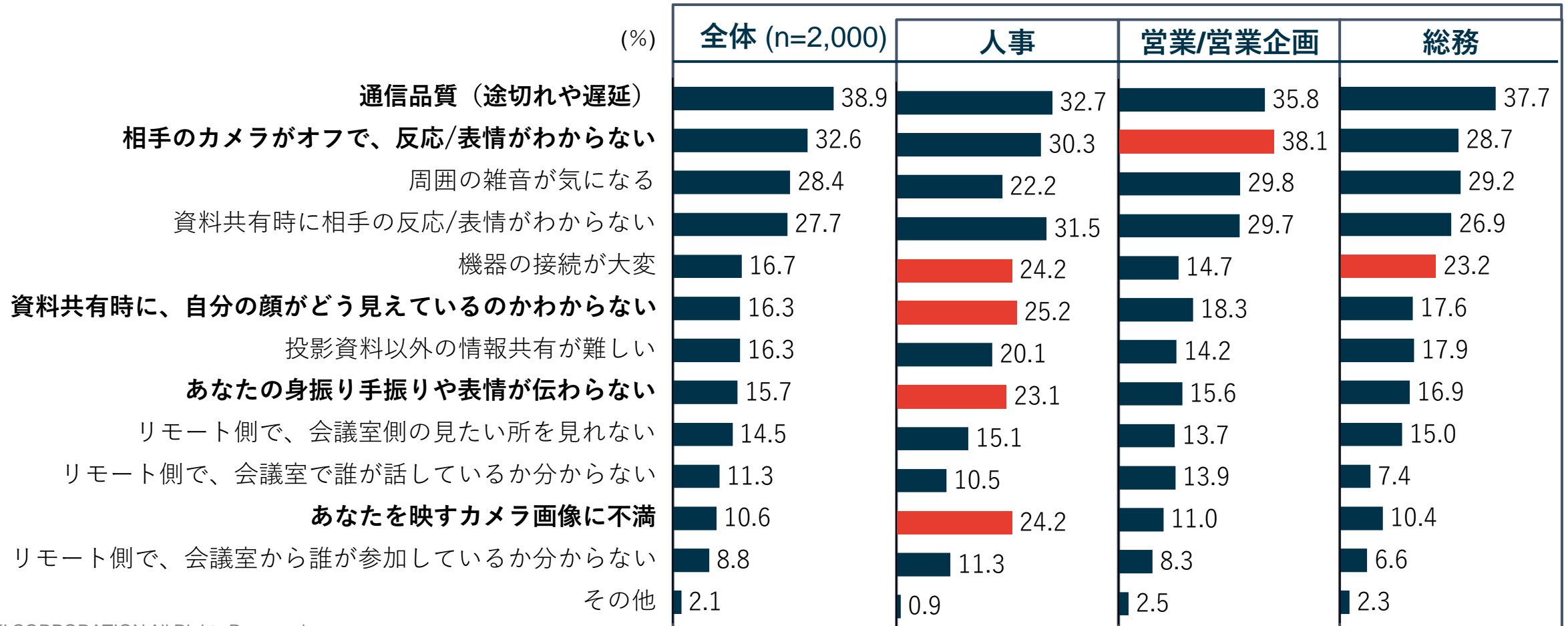
Web会議に対する不満（職種別）

Q. Web会議で不便・不満を感じる点は？

「通信品質（途切れや遅延）」はいずれの職種でも不満が高い
 「相手の反応／表情がわからない」不満が高いのは「営業／営業企画」
 「自身の顔映り」や「身振りや表情の伝達」に不満があるのは「人事」

(複数回答)

全体+5%以上



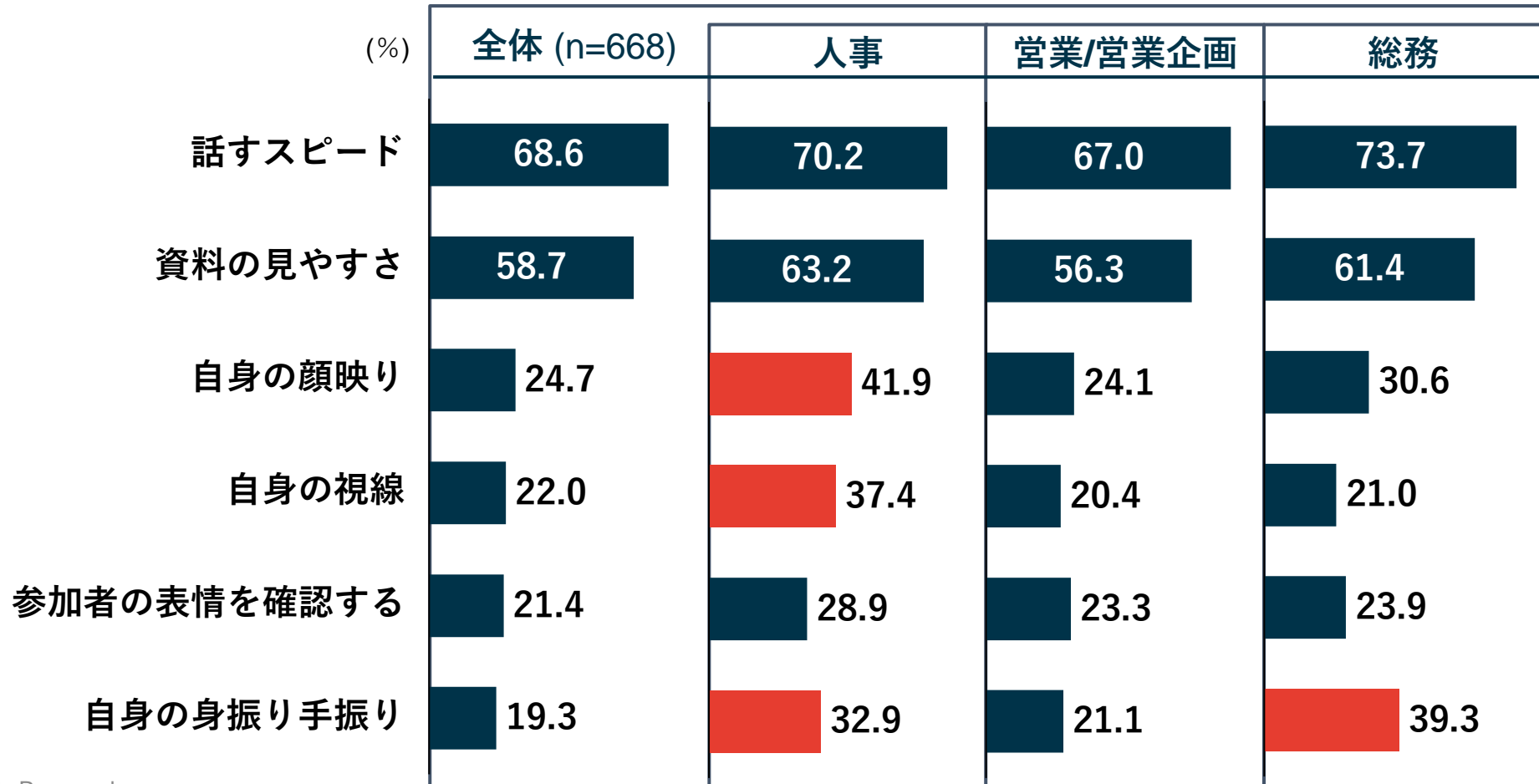
Webプレゼンの工夫（職種別）

Q. Webプレゼンで
どんな工夫をしている？

全体では「話すスピード」「資料の見やすさ」の工夫が多くあがる
更に「人事」は「自身の顔映り／視線／身振り手振り」を自身で工夫

対象：直近1ヶ月に自身がプレゼンをする立場でWeb会議に参加した人（複数回答）

全体+10%以上



総括：多様なニーズを捉えたオフィスが、ハイブリッドワーカーを惹きつける

- Web会議に対する困り事や工夫点は、職種によって違いがある
- 「人事」などのWebプレゼンの多い職種は、Web会議環境へのニーズも多岐に渡り、「Webで伝わるための工夫」を自身で行っている
- 「営業・営業企画」は「相手の反応／表情がわからない」点に不便や不満を感じている
- Web会議が定着したいま、オフィスのハイブリッドな会議環境も、ワーカーの活動実態や多様なニーズに合わせたアップデートが求められる。

明日の「働く」を、**デザインする。**